



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.404 2025.2.6

れんごう

YAMANASHI

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

連合山梨 2025春季生活闘争(要旨)

連合山梨は、1月16日(木)に開催した第15回執行委員会において、闘争委員会を設置するとともに「2025春季生活闘争方針」を決定しました。今後、各組織の力を合わせて取り組みを進めていきます。

スローガン みんなつくろう! 賃上げがあたりまえの社会

サブスローガン みんなでつくろう! 働く仲間の労働組合

I 取り巻く情勢(略)

II 取り組みの基本的考え方

1.2025春季生活闘争の基本方針

「賃金も物価も上がらない」という社会的規範(ノルム)を変えるのは今である。ノルムを変えることで日本経済の体温を欧米並みに温め、実質賃金が継続的に上昇することで個人消費を拡大し、賃金と物価の好循環を実現する必要がある。よって、各構成組織については、要求書を確実に提出する事を目標とする。

(1)賃金要求に対する考え方

「未来づくり春闘」のもと、国際的に見劣りする日本の賃金水準を中期的に引き上げていくことをめざしてきたが、この3年間、名目賃金は伸びたものの、物価高によって実質賃金は低下し、日本の賃金の相対的位置も低いままである。主要国の賃金が年1～2%ずつ上昇していることを踏まえると、日本の実質賃金をわが国全体の生産性の伸びに応じて継続的に引き上げ、中期的には生産性自体を引き上げることで改善のスピードアップをはかる必要がある。2025年は日本の実質賃金を少なくとも1%程度改善し、賃金における国際的ポジション回復をめざす必要がある。

また、2024春季生活闘争の賃上げ集計結果からすると、企業規模間格差は拡大している可能性がある。全体として労働側への分配を厚くし、企業規模間、雇用形態間、男女間の賃金格差是正を進めるとともに、中期的に分厚い中間層の復活と働く貧困層の解消をめざす必要がある。

したがって、連合は、月例賃金について、産業相場や地域相場を引き上げていく「底上げ」のための「上げ幅の指標」と、「格差是正」と賃金の「底支え」を念頭において「水準の指標」の目安を示すこととする。

<「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方>

	目的	要求の考え方
底上げ	産業相場や地域相場を引き上げていく	定昇相当分+賃上げ分 (→地域別最低賃金に波及)
格差是正	企業規模間、雇用形態間、男女間、地域間の格差を是正する	・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に努める ・地域間については、政労使会議の参加と経営者団体との意見交換
底支え	産業相場を下支えする	企業内最低賃金協定の締結、水準の引き上げ (→特定(産業別)最低賃金に波及)

III 具体的取り組み

1.賃上げ要求

(1)月例賃金

すべての組合は、賃上げの分(3%)と定期昇給相当(賃金カーブ維持相当)分(2%)の確保を大前提に、産業の「底支え」「格差是正」に寄与する「賃金水準追求」の取り組みを強化しつつ、それぞれの産業における最大限の「底上げ」に取り組むことで、5%以上の賃上げを目安とする。月例賃金にこだわるのは、これが最も基本的な労働条件であり、社会的な水準を考慮して決めるべき性格のものだからである。所定内賃金で生活できる水準を確保するとともに、「働きの価値に見合った水準」に引き上げることをめざす必要がある。

なお、中小労組などは格差是正分を積極的に要求する。

(2)具体的な要求目標

具体的な要求指標は、下表のとおりとする。

<賃金要求指標パッケージ>

底上げ	経済社会の新たなステージを定着させるべく、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざす。 すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とし、その実現をめざす。 中小労組などは格差是正分を積極的に要求する。 (1%以上を加え、18,000円以上・6%以上を目安とする)	
格差是正	規模間格差是正	雇用形態間格差是正
	《到達目標水準》 35歳：303,000円 30歳：279,000円	・有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同等に能力の高まりに応じた処遇の実現に取り組む。賃上げ・昇給等により、経験5年相当で時給1,400円以上をめざす。
底支え	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、時給1,250円以上をめざす。	

1)中小組合の取り組み(企業規模間格差是正)

- ①賃上げと価格転嫁・適正取引における格差の解消をめざし、「2025春季生活闘争取り組みに向けた基盤整備」に取り組むとともに、とりわけ中小組合については格差是正分を積極的に要求する。
- ②賃金カーブ維持分は、労働力の価値の保障により勤労意欲を維持する役割を果たすと同時に、生活水準保障でもあり必ずこれを確保する。賃金カーブ維持には定期昇給制度が重要な役割を果たす。定期昇給制度がない組合は、人事・賃金制度の確立をめざし、労使での検討委員会などを設置して協議を進め、定期昇給制度の確立に取り組む。構成組織と地方連合会は連携してこれらの支援を行う。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp 発行人 宮下 竜三

RENGO_YAMANASHI



Facebook



Homepage

- ③すべての中小組合は、上記にもとづき、賃金カーブ維持相当分(1年・1歳間差)を確保した上で、自組合の賃金と社会横断的水準を確保するための指標を比較し、その水準の到達に必要な額を加えた総額で賃金引き上げを求める。また、獲得した賃金改善原資の各賃金項目への配分等にも積極的に関与する。
- ④賃金実態が把握できないなどの事情がある場合は、賃金要求指標パッケージの目標値に格差是正分1%以上を加え、18,000円以上・6%以上を目安とする。

2)雇用形態間格差是正の取り組み

- ①2024年度地域別最低賃金は5.1%と連合結成以来最大の引き上げとなった。既存者の賃金について、既存者のキャリア評価が適切に処遇に反映されるとともに、有期・短時間・契約等労働者の生活を守り、雇用形態間格差是正をはかるため、地域別最低賃金の引き上げ率を上回る賃金引上げに取り組む。
- ②有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保の観点から、企業内のすべての労働者を対象とした企業内最低賃金協定の締結をめざす。締結水準については、時給1,250円以上をめざす。
- ③有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同等に能力の高まりに応じた処遇の実現に取り組む。賃上げ・昇給等により、経験5年相当で時給1,400円以上をめざす。なお、参考資料として、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」のデータにもとづく職種別の経験5年相当の時給についても示す。
- ④賃上げの結果および企業内最低賃金協定を法定最低賃金引上げに結びつける。地域別最低賃金については、全都道府県で1,000円超えを実現するとともに、一般労働者の賃金中央値の6割水準をめざす。また、産業に必要な人材の確保・定着や労務費等の価格転嫁・適正取引を進め、当該産業の公正競争を担保するためには、企業を超えた産業レベルでの賃金水準形成も重要であり、特定最低賃金の役割を踏まえ、新設・改定に取り組む。

(3)男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正

- 1)賃金データにもとづいて男女別の賃金分布を「見える化」(賃金プロットなど)し、賃金格差につながる要因を分析・是正する。
- 2)生活関連手当(福利厚生、家族手当など)の支給における住民票上の「世帯主」要件は実質的な間接差別にあたり、また、女性のみに住民票などの証明書類の提出を求めることは男女雇用機会均等法で禁止されているため、「世帯主」要件や女性のみ証明書類を提出させることの廃止を求める。

(4)初任給等の取り組み

- 1)すべての賃金の基礎である初任給について社会水準を確保する。
- 2)中途入社者の賃金を底支える観点から、年齢別最低到達水準についても協定締結をめざす。

(5)一時金

- 1)月別賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含め水準の向上・確保をはかることとする。
- 2)有期・短時間・契約等で働く労働者についても、均等待遇・均衡待遇の観点から対応をはかることとする。

2.「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善

- (1)「豊かな生活時間の確保」と「あるべき労働時間の実現」の取り組み
- (2)すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み
- (3)職場における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み
- (4)人材育成と教育訓練の充実
- (5)60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み
- (6)テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み
- (7)障がい者雇用に関する取り組み
- (8)中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備
- (9)短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大に関する取り組み
- (10)治療と仕事の両立の推進に関する取り組み



3.ジェンダー平等・多様性の推進

- (1)改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- (2)あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- (3)育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
 - ※改正育児・介護休業法(2025年4月から順次施行)
- (4)次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

4.春季生活闘争を通じた、集团的労使関係の強化・構築と組織拡大の取り組み

春季生活闘争の機会を捉まえ、職場討議や労使交渉を活用し、組合員の減少に歯止めをかけ、組織拡大に転じる取り組みを強化する。

5.「ビジネスと人権」の取り組み

企業規模・業種・海外取引の有無にかかわらず、連合加盟のすべての労働組合がそれぞれの現場で取り組みを進めていく。

6.運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」

2025春季生活闘争における運動の両輪として、政策・制度実現の取り組みを引き続き推進する。

Ⅳ 闘いの進め方

- 1. 連合山梨は本日の第15回執行委員会において窪田会長を本部長とする連合山梨闘争委員会を設置するとともに、本執行委員会を第1回闘争委員会として本格的な春闘への取り組みを開始する。
 - 2. 県内が交渉組合となる中小・地場を中心とした構成組織を積極的に支援するため、連合山梨中小対策委員会に「中小共闘センター」を設置し、闘争期間中の限定的な共闘機関として対象産別で構成された委員を中心に情報交換・地域共闘などに努め、交渉力強化を図る。
 - 3. 春闘要求書は原則として2月末まで、遅くとも3月末までには提出する。なお、前段交渉を強化し、回答・妥結については原則として3月、遅くとも4月内決着を目指した交渉を展開する。
 - 5. 連合山梨は山梨版の政労使会議に参加し、問題意識の共有と社会的機運醸成をはかる。
 - 6. 連合山梨は経済4団体のトップリーダーとの意見交換の場を持ち、労働側・使用者側の意識共有をはかり、労働者の立場向上・春闘交渉の前進の一助となる様に、意見提起していく。
 - 10. 官公労働者の取り組みについては労働法の適用外となる雇用者の労働条件課題に積極的に取り組むとともに、官公部門連絡会を中心にすべての働くものの処遇改善に向け、官民労組が連携した行動を展開していく。
- (4. 7. 8. 9. 11. は 略)

Ⅴ 主な取り組み

月 日	行 動 内 容
1月16日(木)	連合山梨第15回執行委員会 ★第1回闘争委員会
2月 6日(木)	連合山梨第16回執行委員会 ★第2回闘争委員会 ★春闘セミナー&闘争開始宣言集会 (ジツブゾウ 甲府府庁ホール)
2月下旬	山梨労働局・経済団体要請行動
2月27日(木)	2025連合アクション
3月 3日(月)	連合山梨第17回執行委員会 ★第3回闘争委員会 ★2025春季生活闘争総決起集会 (ジツブゾウ 甲府府庁ホール)
3月下旬	連合山梨 構成組織訪問活動《3~5月 連合山梨対話月間》
4月 2日(水)	連合山梨第18回執行委員会 ★第4回闘争委員会
5月 9日(金)	連合山梨第19回執行委員会 ★第5回闘争委員会

※ 2025春闘は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上(中小労組などは格差是正分1%以上を加えた6%以上)をめざして、要求書を提出する事を目標として取り組んでいきましょう!

1
7
TUE

連合山梨2025新春交歓会

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

連合山梨は1月7日(火)アピオ甲府タワー館において、構成組織ならびにご来賓を合わせた約200名参加のもと、2025新春交歓会を開催しました。

主催者を代表して窪田会長は、「2025春闘の取り組みの重要性や、戦後80年の節目の年を迎えるにあたり、平和について自らが考え、自らが行動を起こす年としなければならない」と訴えました。そして「今年7月の第27回参議院選挙は、政権交代に向けた重大なステップであり、非常に大きな意義を持つ選挙になる。各産別の比例候補と、これから決定すると思われる山梨選挙区の候補の当選をなんとしても勝ち取らなければならない」と決意を示しました。また「連合山梨は今年1月26日に結成35年の節目を迎え、改めて労働運動の原点に立ち返り、すべての働く仲間の声に応える運動を進めていく」と述べました。

続いて、長崎知事、樋口甲府市長、高西山梨労働局長、佐々木経営者協会会長、中島衆議院議員、奥石元参議院副議長のご来賓からご祝辞を賜りました。



連合山梨議員懇話会各団体や関係友誼団体の紹介、あいさつ、懇親の後、杉原会長代行の「団結ガンパロー」で新年のスタートを切りました。

連合山梨は、「未来に向かって挑戦をし続け、希望あふれる未来へと変えていく」この決意を胸に、「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、今年もしっかりと取り組んでまいります。

事務局長 宮下 竜三

1
28
TUE

連合関東ブロック2025女性会議in山梨



1月28日(火)連合関東ブロック連絡会の「2025女性会議」が甲府市の古名屋ホテルで開催されました。関東各地から女性リーダー約70名(内山梨から8名)の参加がありました。

本部からの運動方針と改正育児・介護休業法についての説明が行われ、各地方連合会からの活動報告がされました。連合東京の斉藤会長による「労働組合の政治活動～頑張ろう三唱と選挙～」の講演では、これまでの経験談や会長としての思いから学びを深めることができました。



最後には「しなやかにしたたかに頑張りましょう」という激励の言葉をいただきました。

休憩時には紅茶と信玄餅をいただきながら和やかなムードがつけられ、その後行われたグループ討議では、活発に意見交換が行われました。

労働運動における悩みや課題、女性が政治に積極的にかかわるにはどうしたらよいかなどについて話し合い、伝えたいことをわかりやすく発信すること、多くの若い人達に身近なSNSを活用することなどが重要ではないかなど、多くの意見が出されていました。



懇親会では、ポップサーカスマンメンバーによる余興もあり、大いに盛り上がる中で、参加者同士の交流を深めることができました。今回の会議では、業種や年齢が違って、同じ働く女性労働者として、男女平等についての見解を深め、さまざまな課題を共有して政治活動につなげていくことの大切さなどを改めて感じる事ができました。

女性委員会 委員長 濱田 さつき

令和7年「はたちの献血」キャンペーンの実施について



はたちの献血

赤十字は、動いている！

THINK 献血

献血者が減少傾向にある冬期において、安定的に献血血液を確保するため、「はたち」の若者を中心に、広く国民各層に献血について普及啓発し、理解と協力を呼びかけるものです。

(主催：厚生労働省、都道府県、日本赤十字社)

山梨県公式サイト

<https://www.pref.yamanashi.jp/eisei-ykm/kenketsu.html>



日本赤十字社公式サイト

<https://www.jrc.or.jp/lp/hatachi2025/>



2025 明治安田J2リーグ ホームゲーム試合日程

J1Tリサイクルインクスタジアム

節	試合日時	対戦相手
4	3/9 (日) 14:00	藤枝MYFC
6	3/23 (日) 14:00	ジェフユナイテッド千葉
8	4/5 (土) 13:30	いわぎFC
10	4/19 (土) 14:00	V・ファーレン長崎
12	4/29(祝) 14:00	ベガルタ仙台
13	5/3 (祝) 13:30	徳島ヴォルティス
16	5/17 (土) 13:30	FC今治
19	6/15 (日) 18:30	ロアッソ熊本
21	6/28 (土) 18:30	愛媛FC
23	7/12 (土) 18:30	RB大宮アルディージャ
24	8/2 (土) 18:30	モンテディオ山形
26	8/17 (日) 18:30	大分トリニータ
27	8/23 (土) 18:30	北海道コンサドーレ札幌
29	9/13 (土) 時間未定	サガン鳥栖
30	9/20 (土) 時間未定	ブラウブリッツ秋田
32	10/4 (土) 時間未定	ジュビロ磐田
35	11/2 (日) 時間未定	水戸ホーリック
37	11/23 (日) 祝 時間未定	カターレ富山



ヴァンフォーレ甲府『ホームゲームチケット』の抽選について

今年度も「ヴァンフォーレ甲府！シーズンシート(2席)」を年間契約しました。

下記の要領で組合員の方に抽選でチケットを配布しますので、是非、お申込み下さい。



- ① リーグ戦期間 2025年3月9日(日)～11月23日(土)
- ② 観覧可能試合 ホームゲームのみ
- ③ 枚数 毎試合「2席」(先行入場対象チケット)
- ④ 指定席箇所 メインスタンド B7列 102番・103番
- ⑤ 利用可能者 連合山梨の組合員と一親等のみ(組合員が必ず同行すること)
- ⑥ 申し込み方法
 - 下記の三点にご留意のうえ、「チケット抽選申込書」にご記入いただき、連合山梨宛にご送付ください
 - ①申し込みは、試合観戦希望日2週間前の金曜日の午前中まで
 - ②希望者多数の場合は厳選なる抽選を実施
※但し、過去に当選実績のある方は除外とします
 - ③当選者のみにご連絡し、引き渡し方法を調整します
- ⑦ その他
 - 大切な組合費を使つての事業展開ですので、部外者への転用や親戚・友人等の利用はお断りします
 - 今年度は新たな取り組みとして、産別の申し込みも受付けます
 - 日程については、「ヴァンフォーレ甲府 公式ウェブサイト」をご覧ください

キリトリー線

『ヴァンフォーレ甲府！ホームゲームチケット』抽選申込書

試合希望日	月 日 () 曜日
産別名	
単組名	
氏名	フリガナ
連絡先	日中、連絡の取れる電話番号をご記入下さい ☎ — —

ヴァンフォーレ甲府のホームゲームチケットをご希望の方は、枠内をご記入の上、連合山梨宛にご送付下さい。申し込みは、試合観戦希望日2週間前の金曜日の午前中までとなります。詳しくは上記①～⑦をご覧ください。

連合山梨

Fax 055-222-1189

info@yamanashi.jtuc-rengo.jp